## 第1回 熊本市自転車駐車対策等協議会(議事要旨)

開催日時:平成29年10月2日(月) 14時00分~16時10分

開催場所:桜の馬場 城彩苑 出席委員:(敬称略、順不同)

> 柿本竜治、小林守、小田真功、浜田浩、堀田博士、矢古島竜太 安田二郎、坂井一文、田中満生、長尾浩、桑原たか子、山口鈴子

鍋島幸一

## 【協議会】

○会長及び副会長選出

会長:柿本委員 副会長:桑原委員

- ○諮問内容について
- ○今後のスケジュールについて
- ○自転車駐車対策等のこれまでの取組み、経緯について

会 長:自転車駐車対策等のこれまでの取組み、経緯についてご質問はないか? 質問等なし

○諮問事項 (1) 放置禁止区域の変更について ②中心部

会 長 : 中心部の放置禁止区域の変更案について、質問はないか?

委 員 :300m の範囲は妥当だと思うが、山崎町周辺については超えているのではない

か?

事務局 : 300mはあくまで目安で、禁止区域設定の際には地形・地物で境界を区切っている。現在そこには専門学校等があるので禁止区域設定の際に説明に行き、連携

をはかっていく。

委員:禁止区域拡大については、駐輪場を作ってから拡大すべき、また 300m といわず小規模な駐輪場を数多く整備したほうが良いのではないか?

事務局:現在の駐輪場で需要は満たしている。中心部においての駐輪場の分散化については、土地の問題や費用等の問題がある。また、附置義務条例の制度があり、店舗の規模により駐輪場を設置しなければならないことから、そのような活用がはかられると考えている。

委員:大規模駐輪場設置には費用がかかるので、小さい規模での分散化の方が費用が 安いと考える。

事務局 : 大規模駐輪場を造ることが目的ではなく、民間事業者との連携を図り、駐輪需要を満たしてきている。

委員:利用者は、すぐ近くまで自転車で行きたい、費用をかけたくないという思いがある。300mは距離が遠いと思う。中心部ではレンタル自転車も有効ではないか。また、路上などでの小規模駐輪場が多くあったほうが利用者は良いのではないかと思う。また、無料は嬉しいが、盗難などがおきにくい安全な駐輪場であれば有料であってもかまわない、すみわけが必要だと思う。

事務局: 駐輪場の安全については、中心部で有料化になった時に防犯カメラを設置し効果をあげている。また、小さい駐輪場の分散化については、路上駐輪を前提とすることになりますが、過去に路上にラックを設置して対応した経緯がありますが、本市は、広い歩道ばかりではないこともあり、歩行者の通行の障害になるという経緯があった。それらを踏まえ、有料化と民間の活力を使い、放置対策として上手く運用できている。このことから熊本市の場合は路上に駐輪スペースを造ることは考えていない。

委員: 法的には路上駐輪ができない訳ではないと思う。バス停のすぐ近くに駐輪場があれば高齢者にはとても良いはずで、もっと地域の、市民の実情をよく聞いていただきたい。

会 長 : 駐輪場をすぐ造れといっても時間がかかることであり、駐輪対策についてはい ろいろ考えていかなければいけない。また、使う側も自分の利用に合わせたり することは、公共交通機関の場合なかなか難しい部分があり、そこは使う側が 行政に歩み寄っていく必要もあると思う。市もなるべくみなさんの意見を聞き いれていきたいと思うので、両者納得のいくところで今後議論を進めればと思う。

委員: 桜町の再開発が進むと車の渋滞や自転車需要も進むと思うが、附置義務駐輪場では駐輪需要を満たすか気になる。また、バス利用者には駐輪が無料としてできないのか。

事務局:無料化については、中心部において有料化することによって民間事業者の参入が図られ、駐輪需要を満たす駐輪場を確保することができた。また、バス利用者の無料化については、再開発事業者にこのことを伝える。

委員: 恒常的に満杯に近い駐輪場とそうでない駐輪場があるとのことだが、その対応 策は?また市営駐輪場で、広告収入などの何か収入につながることはできない のか?

事務局: 駐輪場の場所と満空状況については、インターネットにて「熊本市駐輪場マップ」というサイトがあり、これでどの駐輪場が空いているかなどが分かるシステムを導入している。

委員:知らない人も多いと思うのでもっと PR してほしい。

事務局: PR をもっと上手くしていきたい。駐輪場利用の偏在の対策については、民間と 同様に料金格差をつける方法等が考えられる。また、駐輪場を活用した広告等に ついては、今後検討も含めて考えていく。

委員:駐輪場どうしの連携で、満空状況の紹介を利用者に伝えているのか?

事務局:現在そのご案内はすでに行っている。

会 長 : 中心部においての放置禁止区域の変更は、賛成で取りまとめる。ただ附帯意見 として、小規模でとめやすい駐輪場も造っていってほしい。との意見を付ける。

- ○諮問事項 (2) 放置禁止区域の指定について、③上熊本駅、④段山電停前、⑤西熊本 駅、
  - ⑥川尻駅説明

会 長 : 4箇所の放置禁止区域の指定について、質問はないか?

委員:自動二輪の駐車場は無いのか?

事務局 : 市営駐輪場においては、辛島公園地下自転車駐車場に50台程度ある。基本的

に、自転車と原付バイク(125cc未満)を対象としている。

委員:説明資料に、今回指定予定区域に放置自転車の写真があるが、それぞれ数台の

自転車しかない。この程度で禁止区域をかけ、条例を変えるのか?

事務局 : せっかく駐輪場を造っても、駐輪場の真横に放置する例もあり景観面、通行の

障害が発生することになります。それと、禁止区域の設定の手続きは条例改正

ではなく規則の改定となる。

委員:今後、禁止区域の指定の際には必ず半径300mを適応していくのか。

事務局 : 基本的には半径 300m を目安と考えている。周辺の状況により、たとえば放置

自転車が発生しそうもない住宅地等を除いたりしている。

会 長 : 地形・地物で設定している。また、用途地域を考慮して区域から除くなども行

っている。

委員:段山電停前は41台しかなく、有料化するにも費用がかかる。そこまでして駐

輪場を整備していくのか。たとえば、空いているスペースに簡単に線でもいれ

て駐車スペースを確保するとかはできないのか。

事務局: 段山については、すぐに有料化する予定はない。現在、有料化しているのは、

中心部のみで、今後有料化していく際は、いろいろな面から検討していく方針。

また、歩道橋下の空きスペース等の通行に支障のないいわゆるデッドスペース

の活用については、今後検討していきたい。今回の禁止区域としては、示した

範囲で考えている。

会 長 : まとめとして、事務局からの提案 4 か所の禁止区域の指定については、妥当と

する。デッドスペースの活用は付帯意見として取り扱わない。

○閉会